

ZENRIN

証券コード：9474

2022年3月期 決算説明資料

2022年5月18日

株式会社 **ゼンリン**
Maps to the Future

代表取締役社長

高山 善司

代表取締役副社長

網田 純也

執行役員コーポレート本部長

戸島 由美子

1. 2022年3月期 決算概要

2. 中長期経営計画「ZENRIN GROWTH PLAN 2025」 ローリングプラン

3. Appendix

注)本資料には、本資料作成日時点で入手可能な将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。世界経済の動向・市場需要・競争状況・為替の変動等にかかわる様々なリスクや不確定要因により、実際の業績が記載の予想数値と大幅に異なる可能性がありますことをご承知おきください。

尚、本資料掲載情報は、表示単位未満の端数切捨て、増減率の小数点以下第2位四捨五入し小数点第1位まで記載しております。
また、増減率が1000%を超える場合、及び一方若しくは両方がマイナスとなる場合は「－」表記しております。

1. 2022年3月期 決算概要

- 1) 決算概要
- 2) 売上高・利益の推移
- 3) 営業利益増減要因（前期比）
- 4) 事業別売上高
- 5) キャッシュ・フロー推移
- 6) 株主還元（配当金・自己株式取得）

1-1) 決算概要

2022年3月期 決算のポイント

前期比【増収増益】

- 売上高は、収益認識に関する会計基準の適用により一部減少したものの、当社のカーナビゲーション用データを搭載した車種の販売が堅調でオートモーティブ関連が増加、企業向けの住宅地図データを活用した受託案件や、ストック型サービスのGISパッケージが堅調に推移、加えて、広告需要が回復傾向にあることなどを背景に、マーケティングソリューション関連も増加
- 損益面では、人件費等の増加はあるものの、増収により営業利益が増加。また関連会社株式の一部売却に伴い投資有価証券売却益等を特別利益に計上したことにより、親会社株主に帰属する当期純利益が増加

(金額単位:百万円)

	‘20年3月期 実績	‘21年3月期 実績	’22年3月期 4/28予想	‘22年3月期 12/17修正	‘22年3月期 実績	‘20年3月期 同期比		‘21年3月期 同期比		修正(12/17)予想比	
						増減率(%)		増減率(%)		乖離率(%)	
売上高	59,771	57,225	58,200	58,200	59,053	△717	△1.2	1,827	3.2	853	1.5
営業費用	56,470	55,789	56,500	55,900	56,382	△87	△0.2	593	1.1	482	0.9
営業利益	3,300	1,436	1,700	2,300	2,670	△630	△19.1	1,233	85.9	370	16.1
営業利益率	5.5%	2.5%	2.9%	4.0%	4.5%	△1.0pt		2.0pt		0.5pt	
経常利益	3,709	1,683	1,900	2,500	3,044	△664	△17.9	1,360	80.8	544	21.8
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,633	1,248	1,300	3,400	3,658	1,025	38.9	2,409	192.9	258	7.6

※ 2022年3月期第1四半期より、「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」)等を適用している為、これまでの計上方法と比較し、当連結会計年度の売上高は1,041百万円、売上原価は1,036百万円、それぞれ減少しております。
営業利益、経常利益及び税金等調整前当期純利益に与える影響は軽微です。

※ 前期(2021年3月期)以前の数値については、収益認識会計基準等を遡及適用していない為、増減額及び率は参考値です。(次ページ以降同様)

1-2) 売上高・利益の推移

売上高

営業利益

経常利益

親会社株主に帰属する 当期純利益

前期比 **1,827増加 (+3.2%)**

1,233増加 (+85.9%)

1,360増加 (+80.8%)

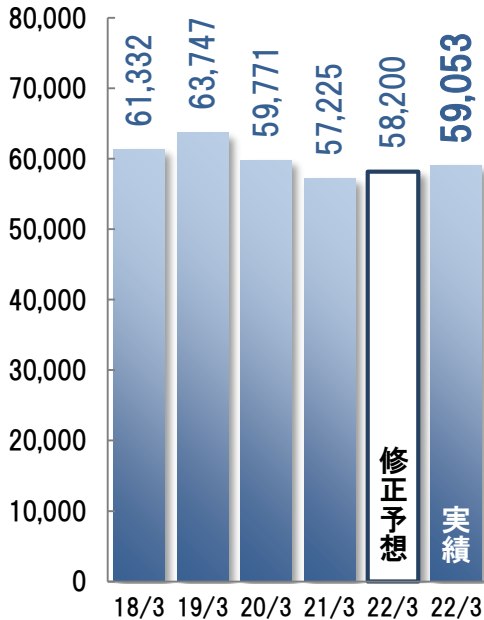
2,409増加 (+192.9%)

12/17
予想比 **853増加 (+1.5%)**

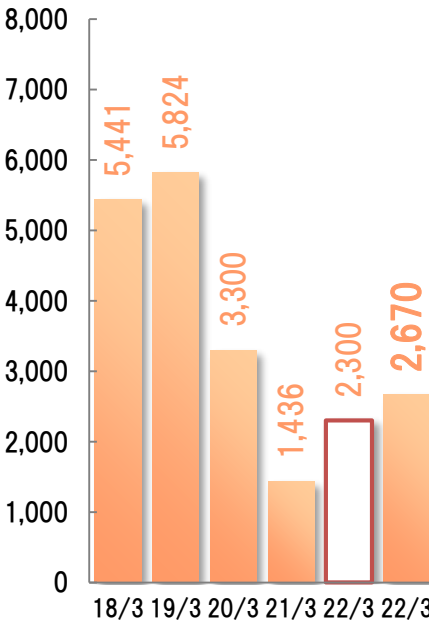
370増加 (+16.1%)

544増加 (+21.8%)

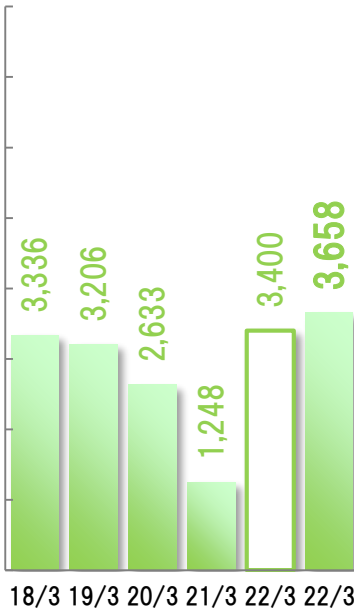
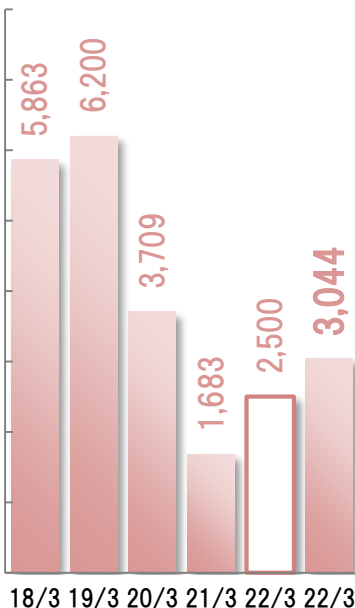
258増加 (+7.6%)



3期ぶり増収



3期ぶり増益

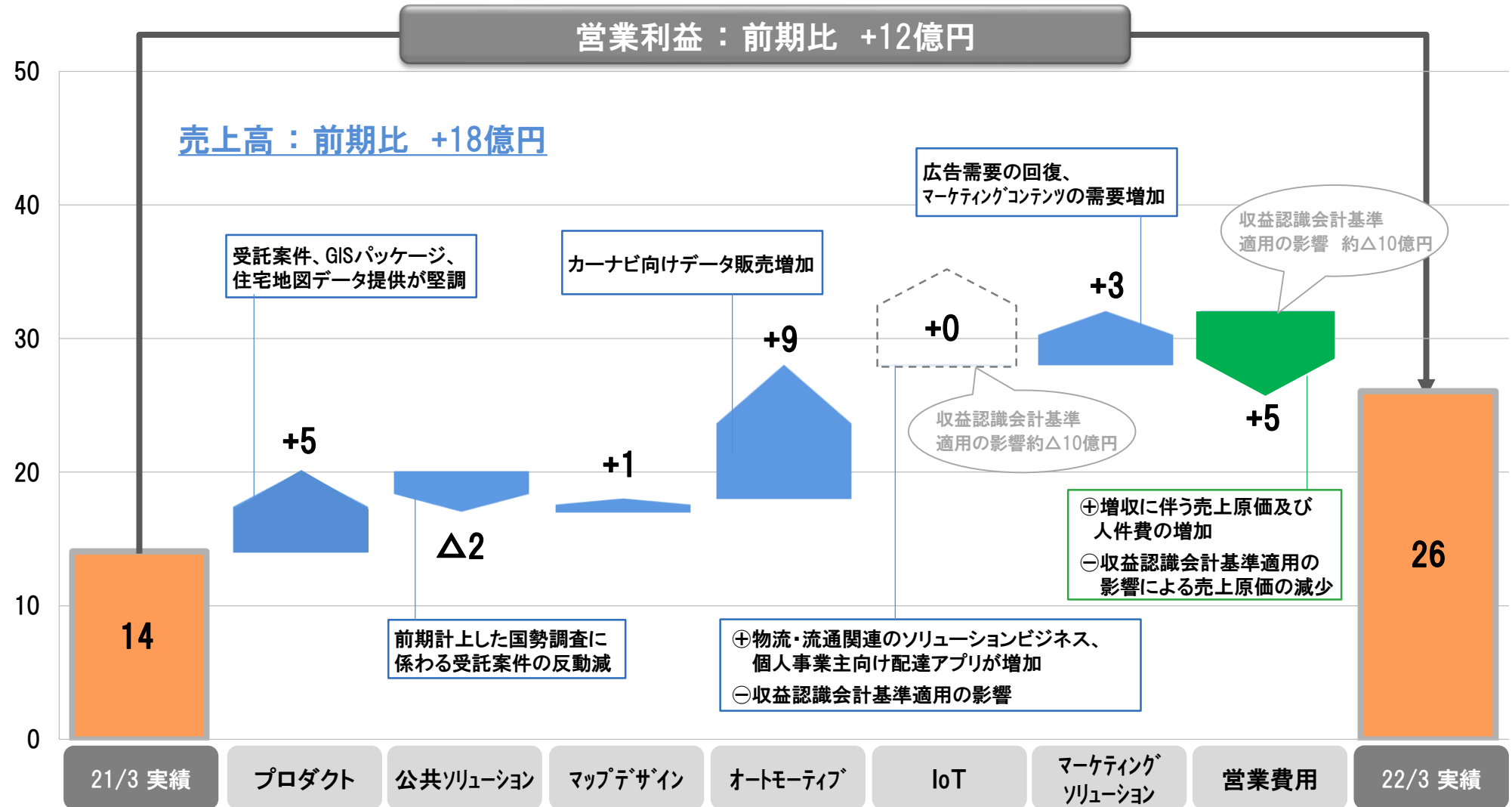


4期ぶり増益

1-3) 営業利益増減要因(前期比)

2022年3月期 決算説明資料

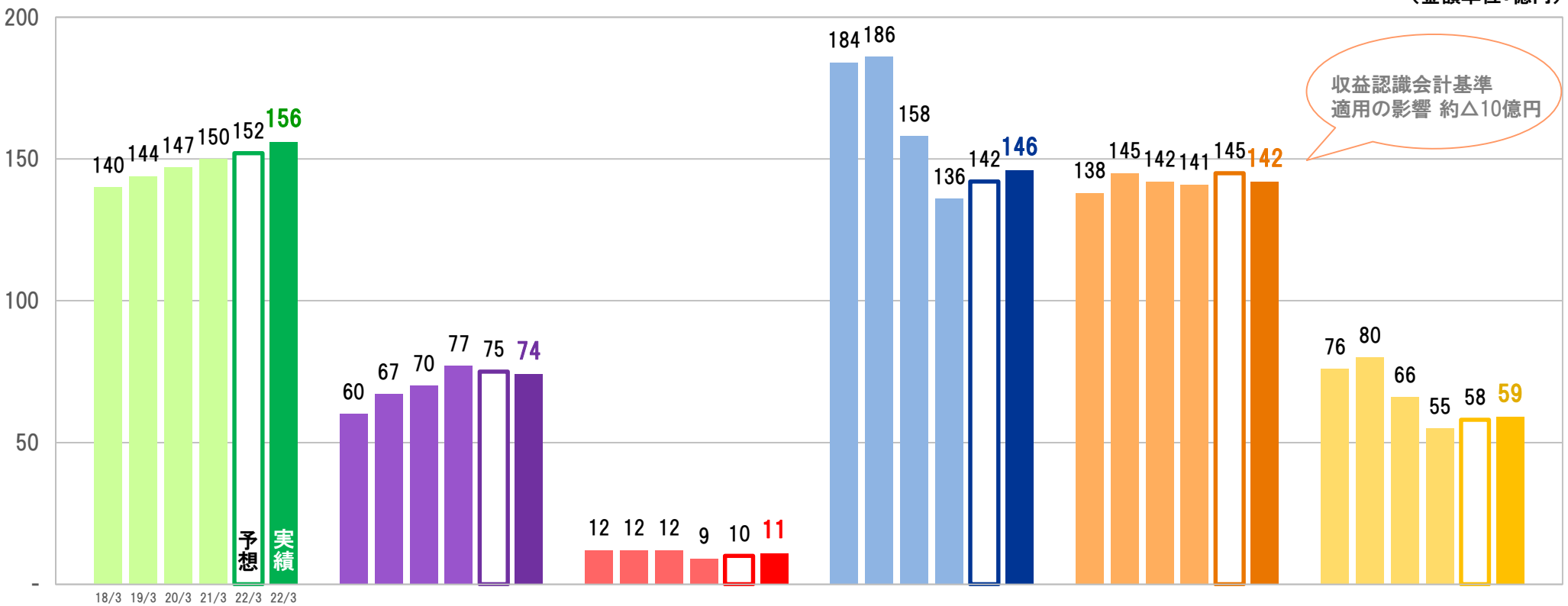
(金額単位: 億円)



1-4) 事業別売上高

2022年3月期 決算説明資料

(金額単位: 億円)

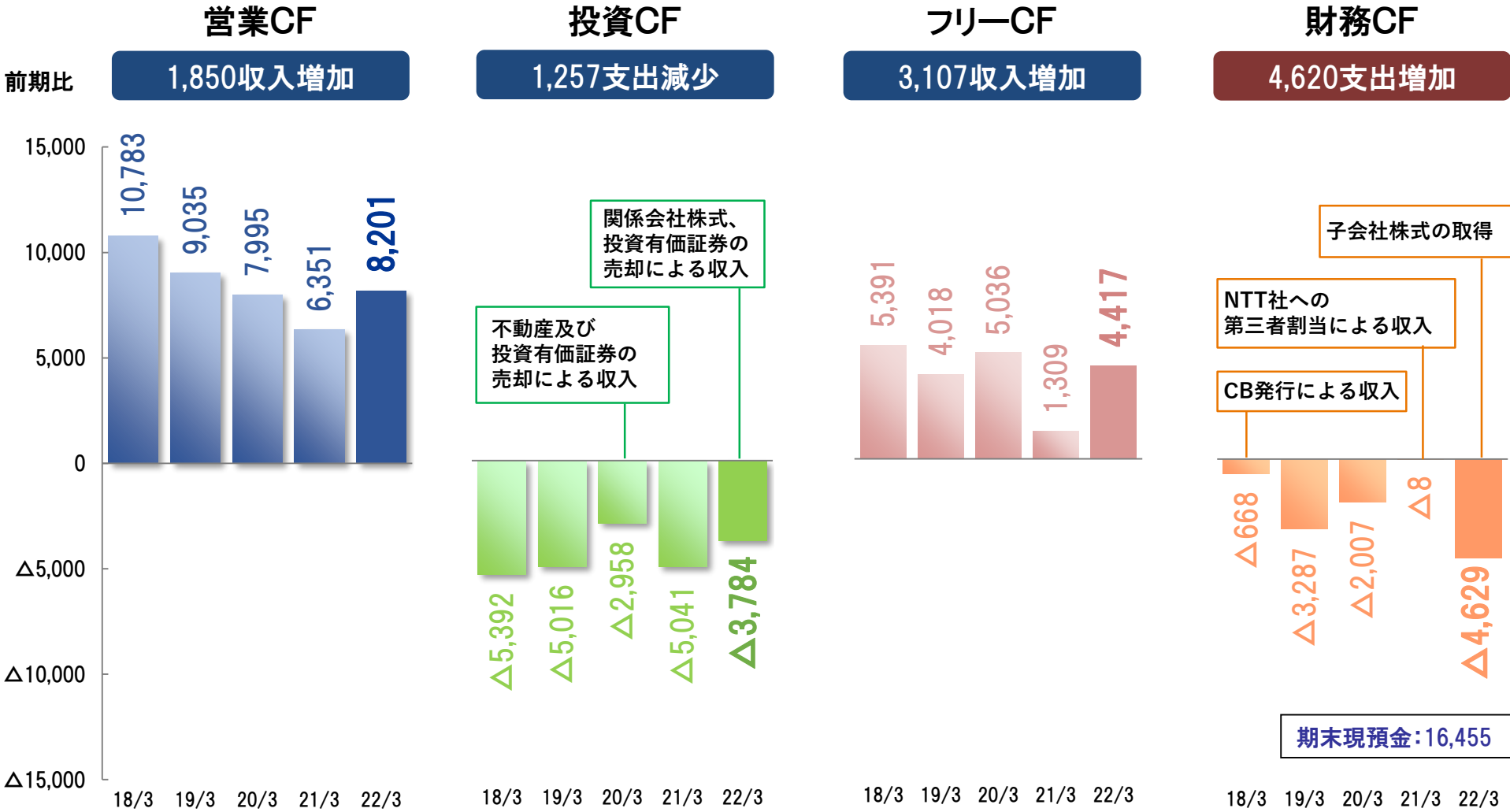


収益認識会計基準
適用の影響 約△10億円

前期比	プロダクト	公共ソリューション	マップデザイン	オートモーティブ	IoT	マーケティングソリューション
	+5 (+3.9%)	△2 (△3.7%)	+1 (+11.4%)	+9 (+7.2%)	+0 (+0.2%)	+3 (+7.0%)

(金額単位:百万円)

1-5) キャッシュ・フロー推移

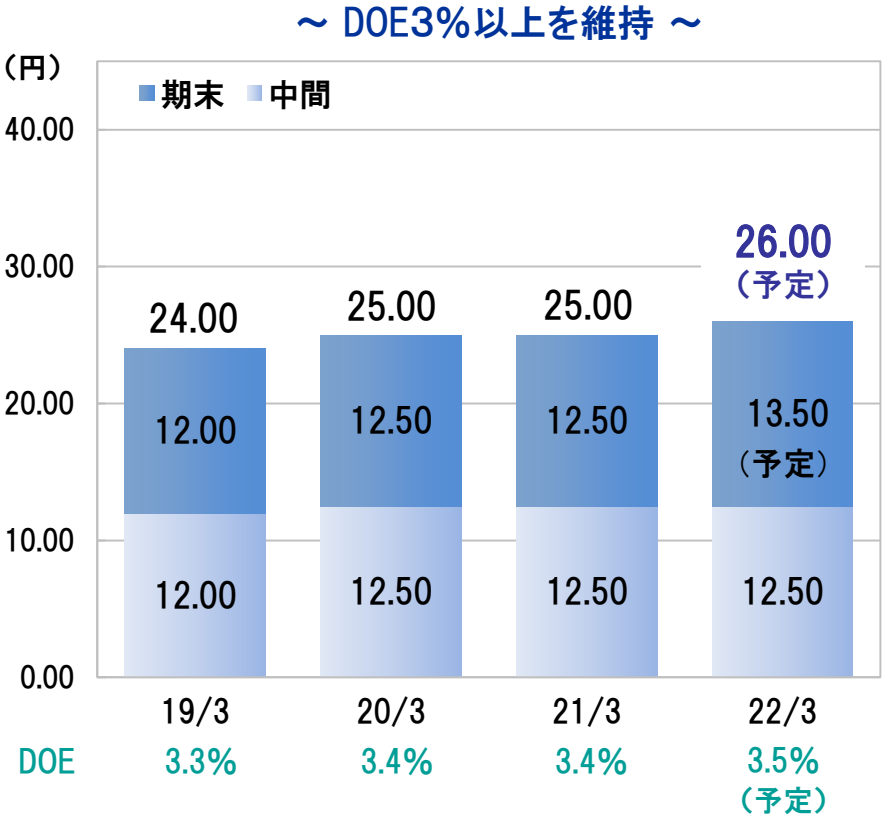


1-6) 株主還元:配当金

基本方針

適正な内部留保を考慮しつつ、中長期経営計画における利益成長に基づいた利益還元を実施
連結株主資本配当率(DOE)3%以上を目標

2022年3月期配当金	
中間	12円50銭
期末	13円50銭 (予定)
年間	26円00銭 (予定)



1-6) 株主還元: 自己株式取得

目的

経営環境の変化に対応した機動的な資本政策の遂行と、資本効率の向上及び株主還元の強化

2021年4月28日 取締役会決議内容		実績
取得期間	2021年5月6日～2022年3月31日	2021年5月6日～2022年3月31日
取得株数	1,000,000株 (上限)	703,000株 (70.30%)
取得金額	1,500,000,000円 (上限)	767,853,400円 (51.19%)

2. 中長期経営計画「ZENRIN GROWTH PLAN 2025」 ローリングプラン（2022年4月28日公表）

- 1) ZGP25 基本方針
- 2) ZGP25 2nd Stage
- 3) 数値目標
- 4) 事業方針
- 5) 事業別売上高
- 6) 事業別取り組み
- 7) トピックス

ネットワーク社会における「量と質」の最適化

～ 位置情報と流通情報を最適化して価値創造 ～

事業
(コト)

リアル
ネットワーク

I. 利用用途をつなげて「コト」を価値化

生産
(モノ)

ロケーション
ネットワーク

II. 位置情報をつなげて「モノ」を多様化

機能
(ヒト)

ヒューマン
ネットワーク

III. 個の知恵をつなげて「ヒト」を人財化

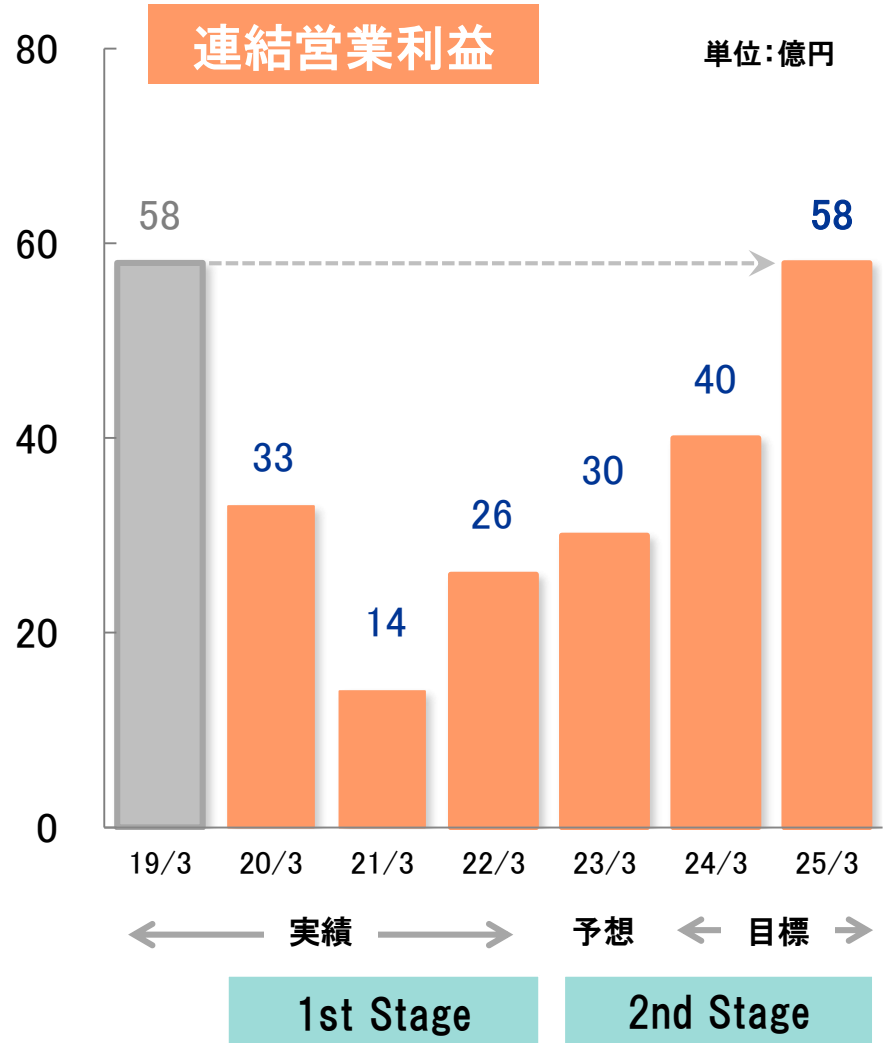
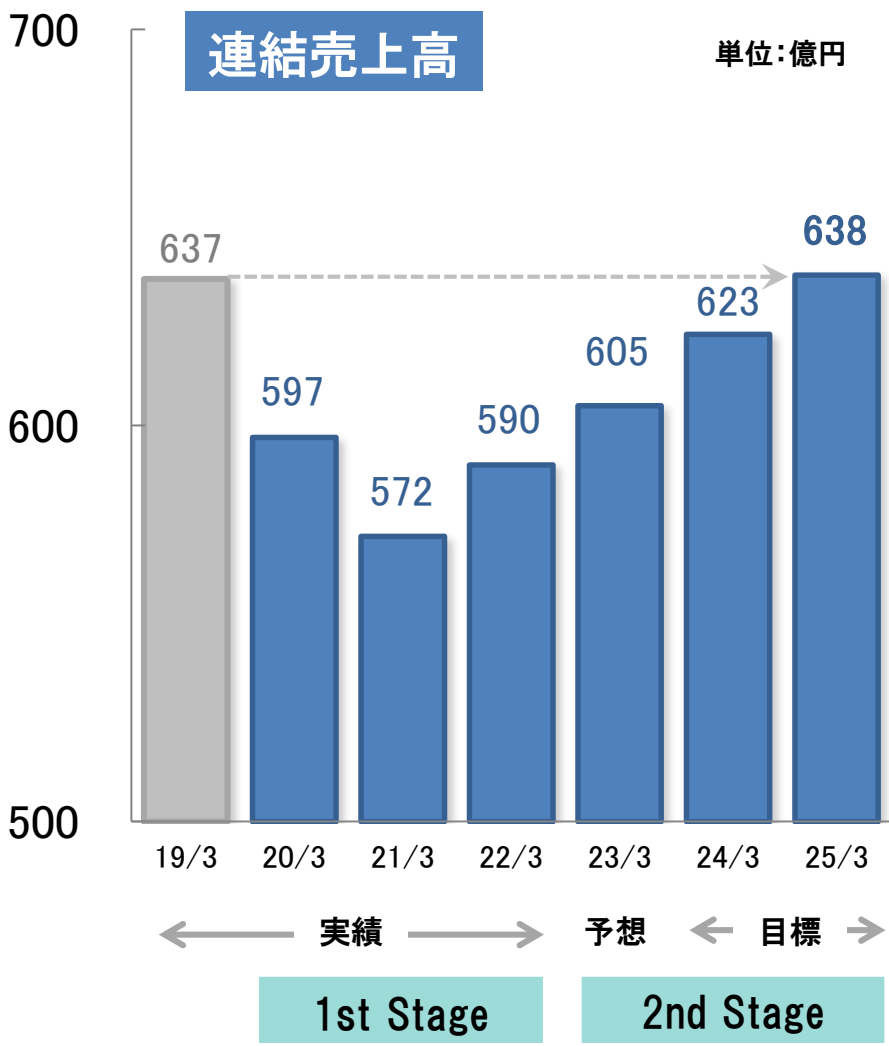


2-3) 数値目標

2022年3月期 決算説明資料

	2nd Stage		
	1年目	2年目	3年目
	2023年3月期 予想	2024年3月期 目標	2025年3月期 目標
連結売上高	605億円	623億円	638億円
連結営業利益 (連結営業利益率)	30億円 (5.0%)	40億円 (6.4%)	58億円 (9.1%)
ROE (自己資本当期純利益率)	5.3%	5.1%	7.3%
DOE (株主資本配当率)	3%以上	3%以上	3%以上

2-3) 数値目標



2-4) 事業方針

～事業ポートフォリオを5事業に区分～

定義

プロダクト事業	用途開発した商品・サービスを企業に提供する事業
公共ソリューション事業	用途開発した商品・サービスを官公庁に提供する事業
マーケティングソリューション事業	エリアマーケティング・販促活動を支援する商品・サービスを事業者提供する事業
IoT事業	課題解決を支援するソリューションを地域社会・企業に提供する事業
オートモーティブ事業	移動に関わる空間情報・サービスを自動車関連企業に提供する事業

社会課題解決への貢献

- ・安全、安心な街づくり
- ・高度なモビリティ社会の共創
- ・産業インフラの構築
- ・地域社会の課題解決
- ・教育、文化振興
- ・環境、資源配慮

2nd Stage事業別方針

プロダクト事業

ストック型ビジネスの拡大とフロー型ビジネスの安定化で収益拡大

公共ソリューション事業

フロー型ビジネスからストック型ビジネスへの転換と受託ソリューション構築による売上拡大

マーケティングソリューション事業

地図情報技術の活用により新たなマーケティング市場を創造

IoT事業

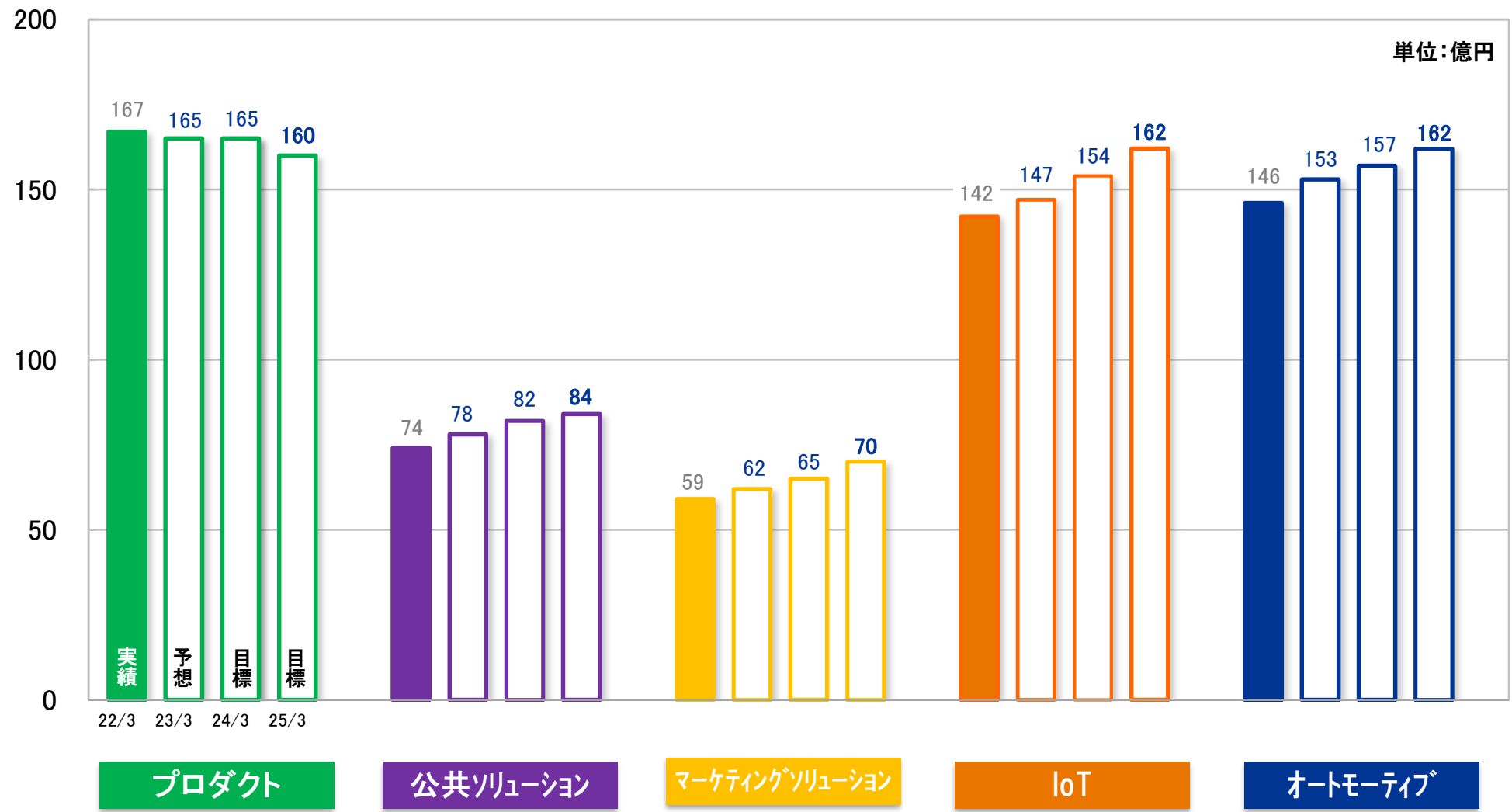
業界DXを支援する位置情報ソリューション企画とアライアンスビジネスの強化

オートモーティブ事業

ナビビジネスの安定とスマートモビリティビジネスの確立

2-5) 事業別売上高

2022年3月期 決算説明資料



※ 2022年3月期のマップデザイン事業の売上は、プロダクト事業に含めております。

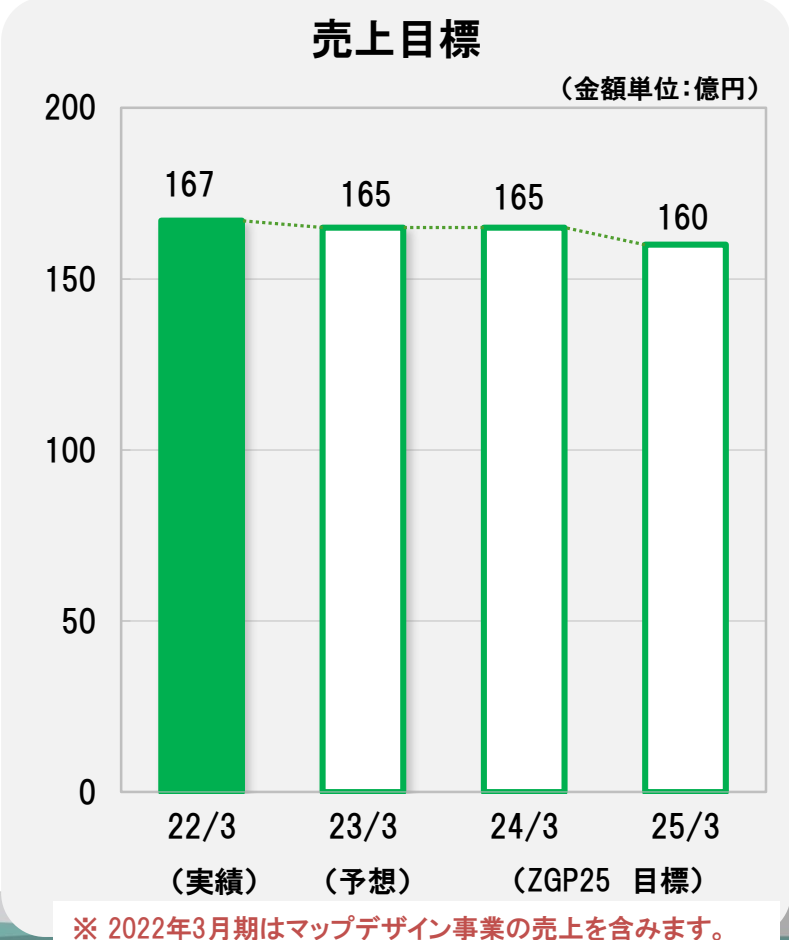
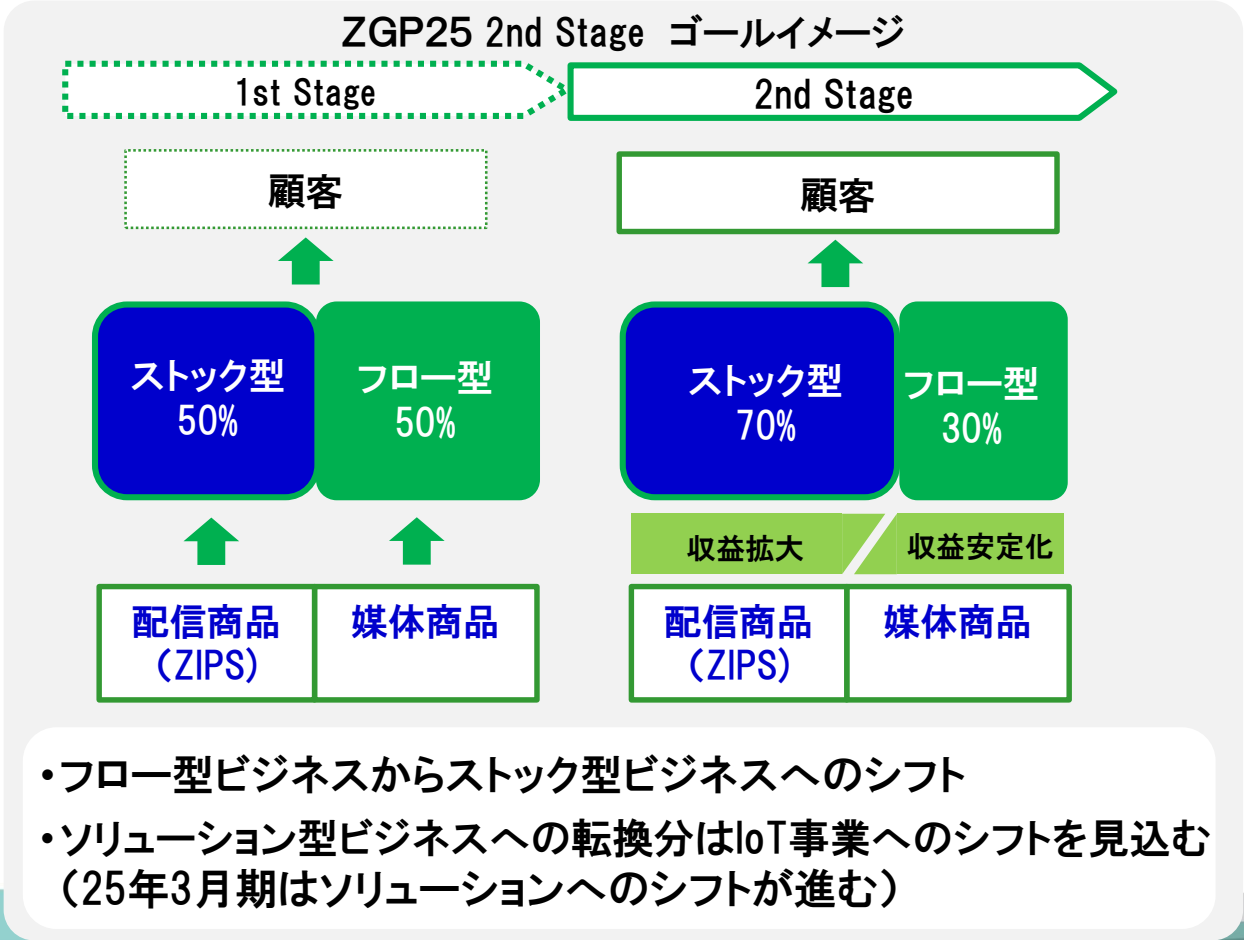
2-6) 事業別取り組み

プロダクト事業

ストック型ビジネスの拡大とフロー型ビジネスの安定化で収益拡大

ZGP25 2nd Stage

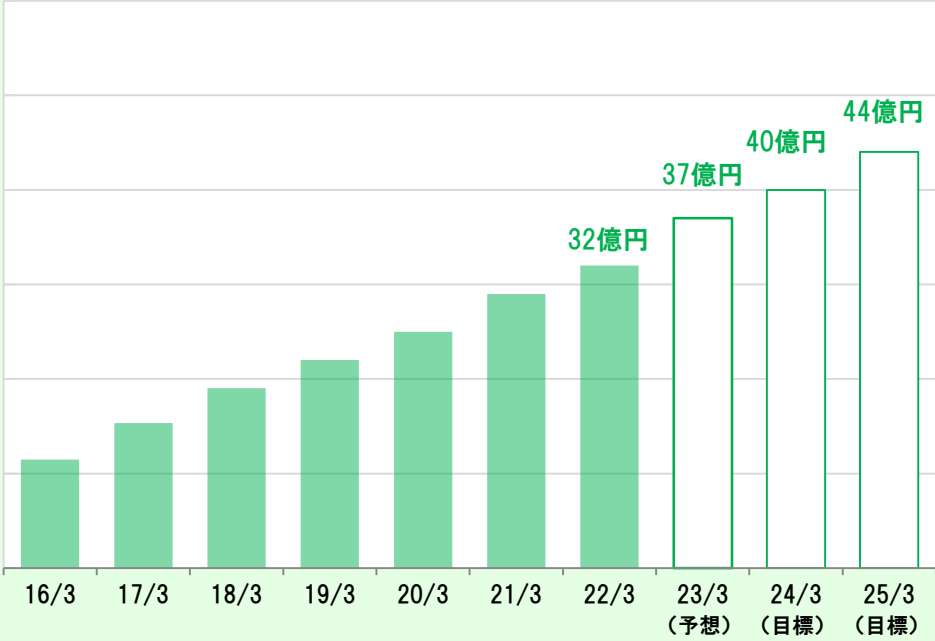
ストック型売上比率を70%に拡大



ZENRIN
GISパッケージ

企業のDX化が加速し業務オペレーションを効率化するニーズに応じて、GISパッケージの業種・業務向け新規ラインナップを増やす

ZENRIN GISパッケージ 売上推移



ZENRIN GISパッケージ 不動産 プレミアム	ZENRIN GISパッケージ 不動産	ZENRIN GISパッケージ 税理士
ZENRIN GISパッケージ 建設 for 設計	ZENRIN GISパッケージ 建設 for 施工	ZENRIN GISパッケージ 不動産鑑定士
New Product	New Product	New Product

2-6) 事業別取り組み

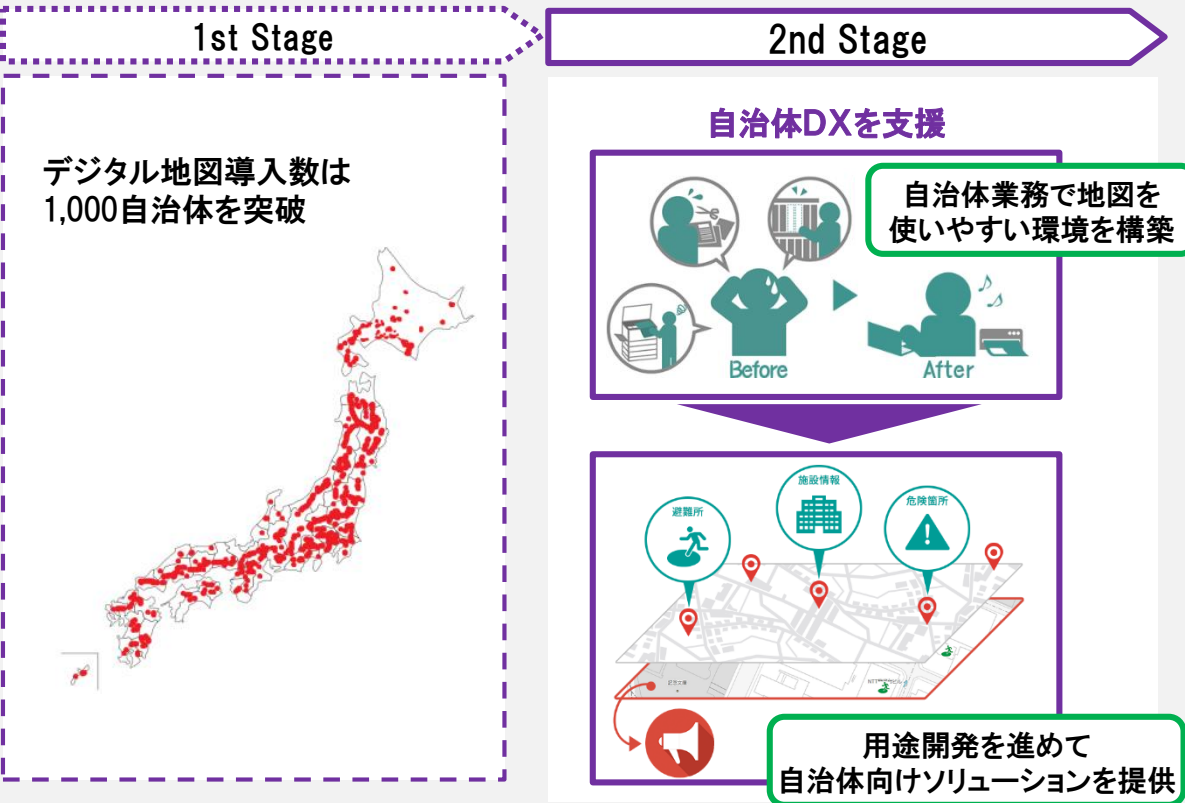
公共ソリューション事業

フロー型ビジネスからストック型ビジネスへの転換と受託ソリューション構築による売上拡大

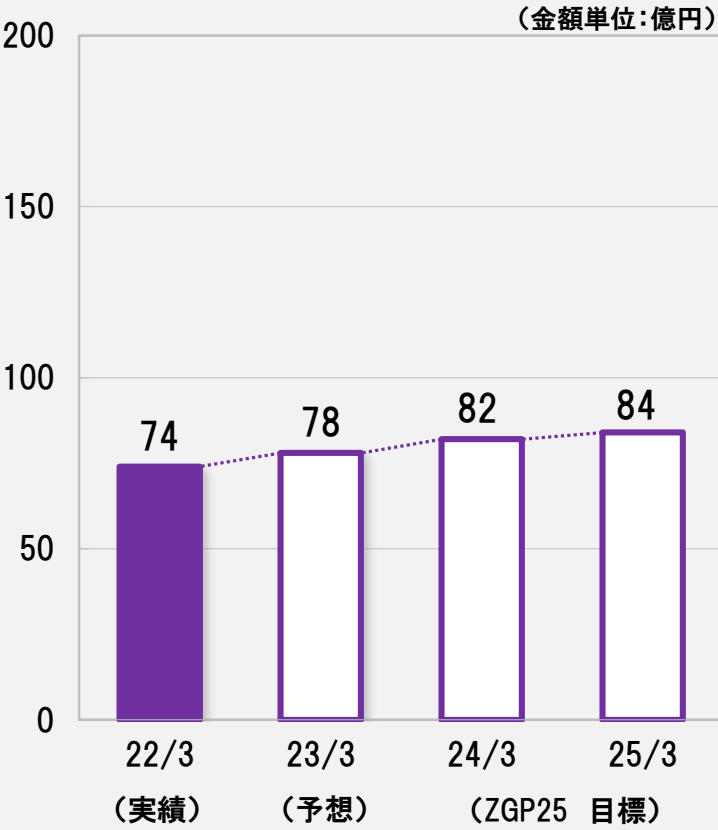
ZGP25 2nd Stage

自治体のDX化を支援する用途開発ソリューションビジネスの構築

ZGP25 2nd Stage ゴールイメージ



売上目標



2-6) 事業別取り組み

マーケティング
ソリューション事業

地図情報技術の活用により新たなマーケティング市場を創造

ZGP25 2nd Stage

地域の中小企業や個人事業主向け販促課題の解決により収益拡大を実現

ZGP25 2nd Stage ゴールイメージ

1st Stage

新商品の開発・リリース



2nd Stage

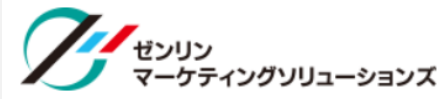
10億円の新規獲得に向けた戦略

地域の中小企業や個人事業主が
自ら行う販促活動を支援

「任せたい」要望に対して、
販促業務を一気通貫で提案



事業基盤の確立



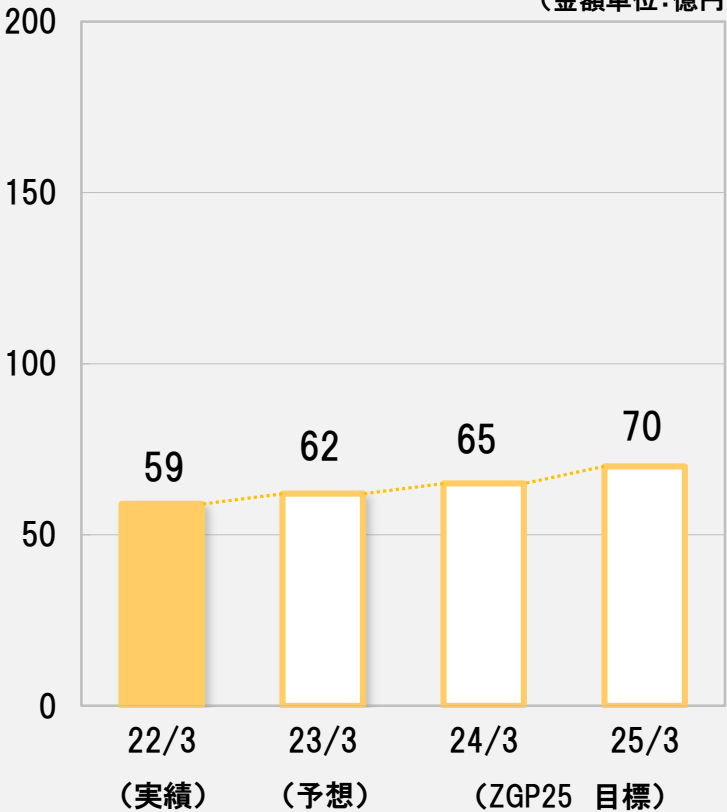
2020年4月1日設立

プランニング クリエイティブ オペレーション

エリア分析から販促実施まで、
販促ソリューションを提供

売上目標

(金額単位: 億円)



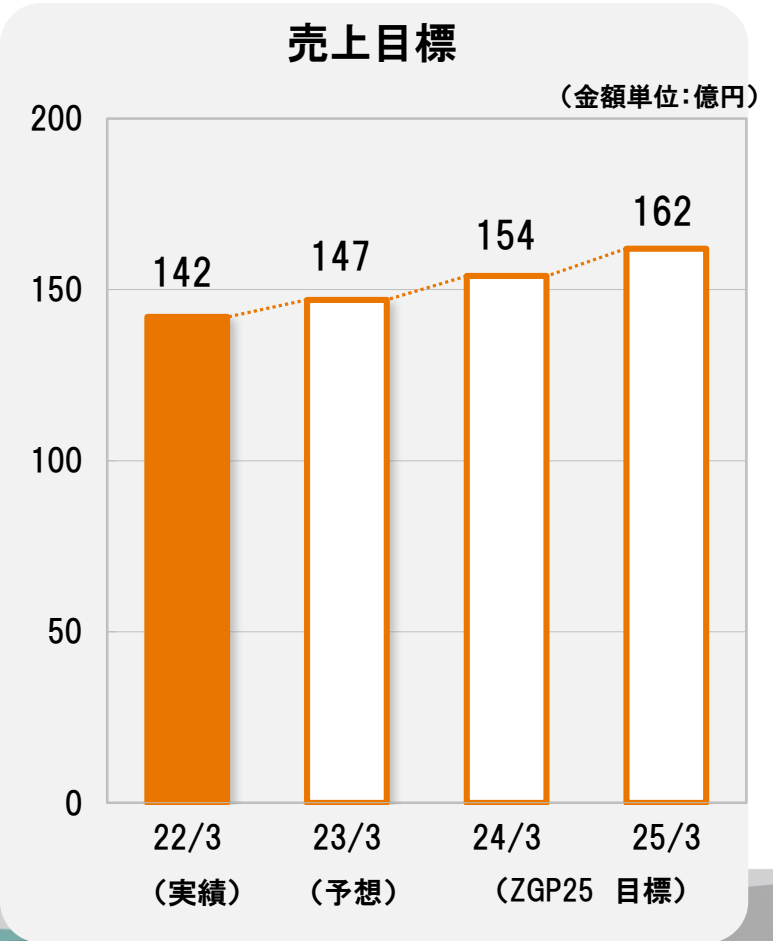
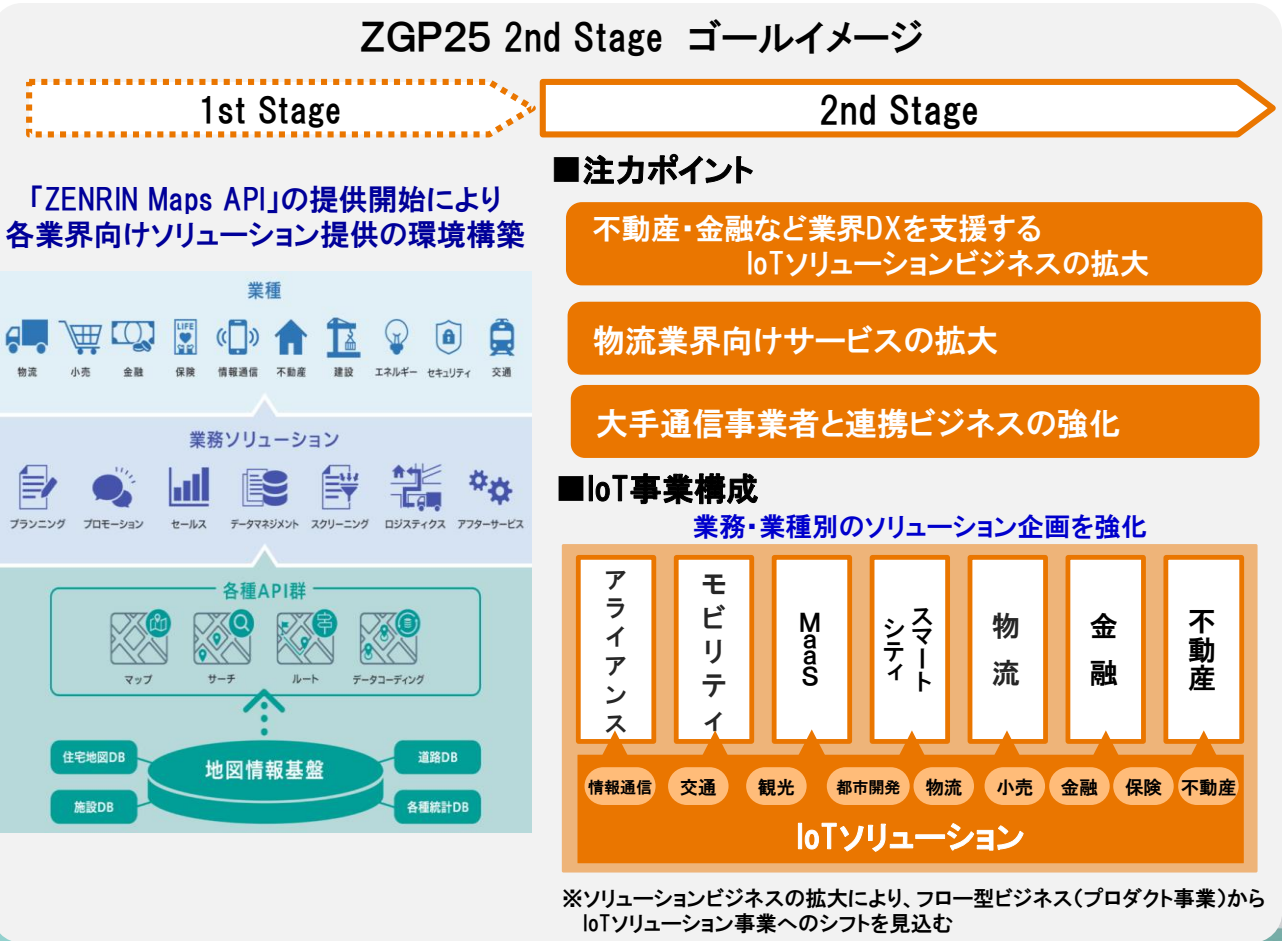
2-6) 事業別取り組み

IoT事業

ZGP25 2nd Stage

業界DXを支援する位置情報ソリューション企画とアライアンスビジネスの強化

「ZENRIN Maps API」を活用した業界別ソリューション強化による売上拡大



2-6) 事業別取り組み

オートモーティブ事業

ナビビジネスの安定とスマートモビリティビジネスの確立

ZGP25 2nd Stage

ビジネス領域の拡大とADASコンテンツによる高付加価値化

ZGP25 2nd Stage ゴールイメージ

1st Stage

ナビビジネス

コネクテッド対応モデルの
立ち上がり



AD/ADASビジネス

高速道路・自動車専用道路
量産対応



2nd Stage

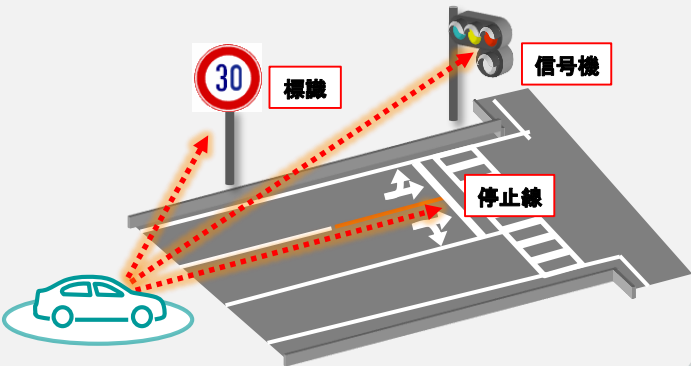
オートモーティブ事業領域の拡大

アプリケーション

データベース

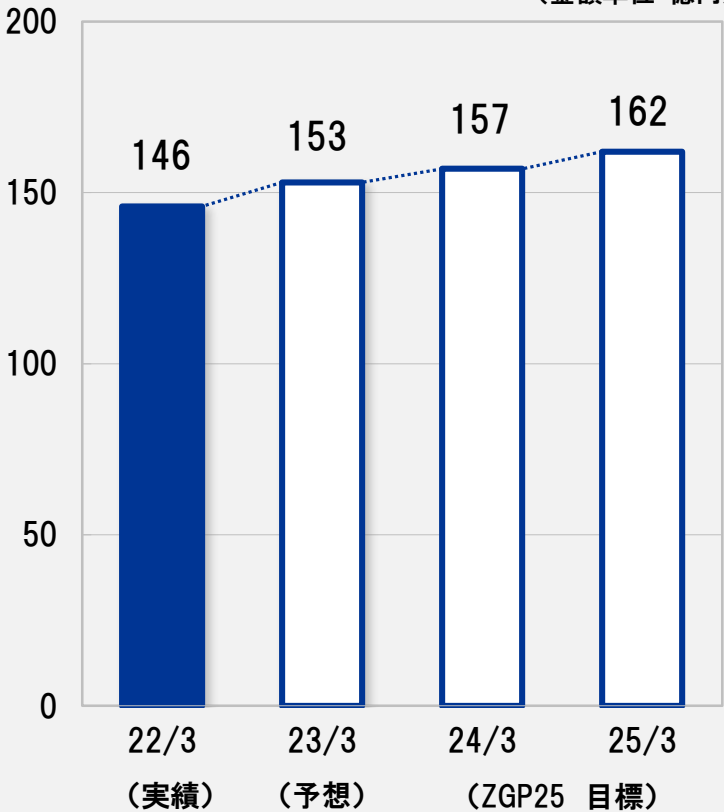


ADASコンテンツの先行的な導入により、
高付加価値のモデルが増加



売上目標

(金額単位: 億円)

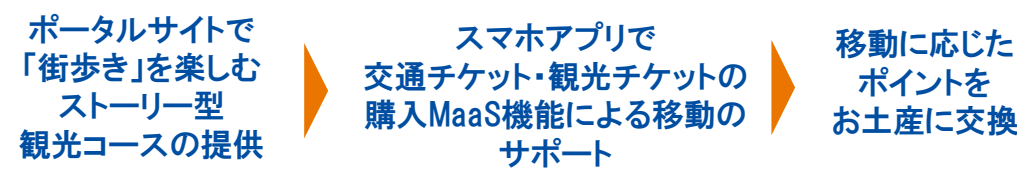


■観光型MaaSアプリ「STLOCAL(ストローカル)」の提供を
長崎市で開始

<2022年3月16日>

「人の行動」を喚起し、長崎市の地域活性化と観光体験の価値向上に
寄与することを目指します。

STLOCAL



▶長崎創生プロジェクト事業に「STLOCAL」が認定 <2022年3月23日>



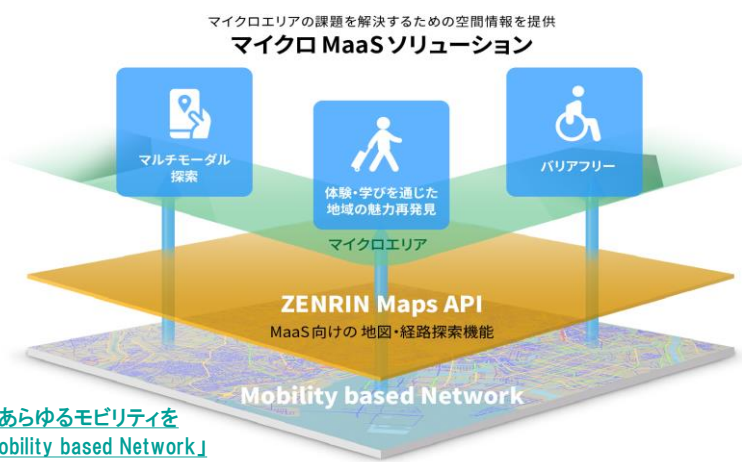
※長崎創生プロジェクト事業認定制度
長崎創生を産業界、教育機関、行政機関、メディア等が
当事者意識を持って「まちづくりの様々な担い手」を
オール長崎で進める取組みを認定する制度

WEB 「STLOCAL」公式サイト
<https://stlocal.net/app-stlocal/>

<右:長崎市 田上市長>

■「ゼンリンマイクロMaaSソリューション」の取り組み

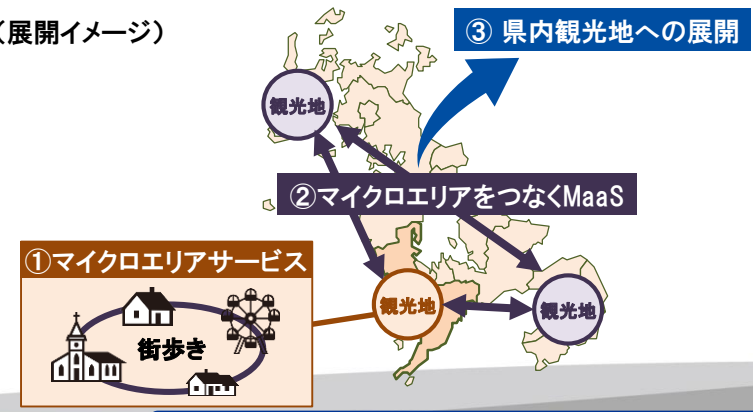
狭域な地域「マイクロエリア」が抱える様々な課題を「移動情報」と
「地図情報」の活用により解決し、地域の活性化に貢献する「ゼンリン
マイクロMaaSソリューション」の提供に向けて取り組んでいます。



1つの空間上であらゆるモビリティを
可視化する「Mobility based Network」

自動車用ネットワーク、鉄道路線、駅構内通路、歩行者用ネットワークなど、移動に必要なあらゆるネットワークを
組み込み、各ネットワークが交通結節点で接続することにより、MaaSに最適化された基盤データベースを提供

(展開イメージ)

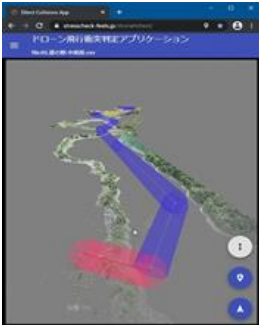


WEB MaaS
<https://www.zenrin.co.jp/product/category/iot/maas/index.html>

スマートシティ、ドローン物流など、地域の課題解決を支援するビジネスモデルを確立し、収益化を目指す

■長野県伊那市
河川上空を“空の道”とした10km以上のドローン配送サービスを実用化

- ・2021年秋、伊那市運営による本格サービスが開始
- ・高精度な地図データで長距離飛行を支援



5 利用者宅周辺の着陸地点に商品が到着。
各地区のボランティアが
ドローンから商品を受け取り、お届け。

1 ケーブルTV、
電話で自宅から注文。

“空の道”を使って
商品を配送
(10km)

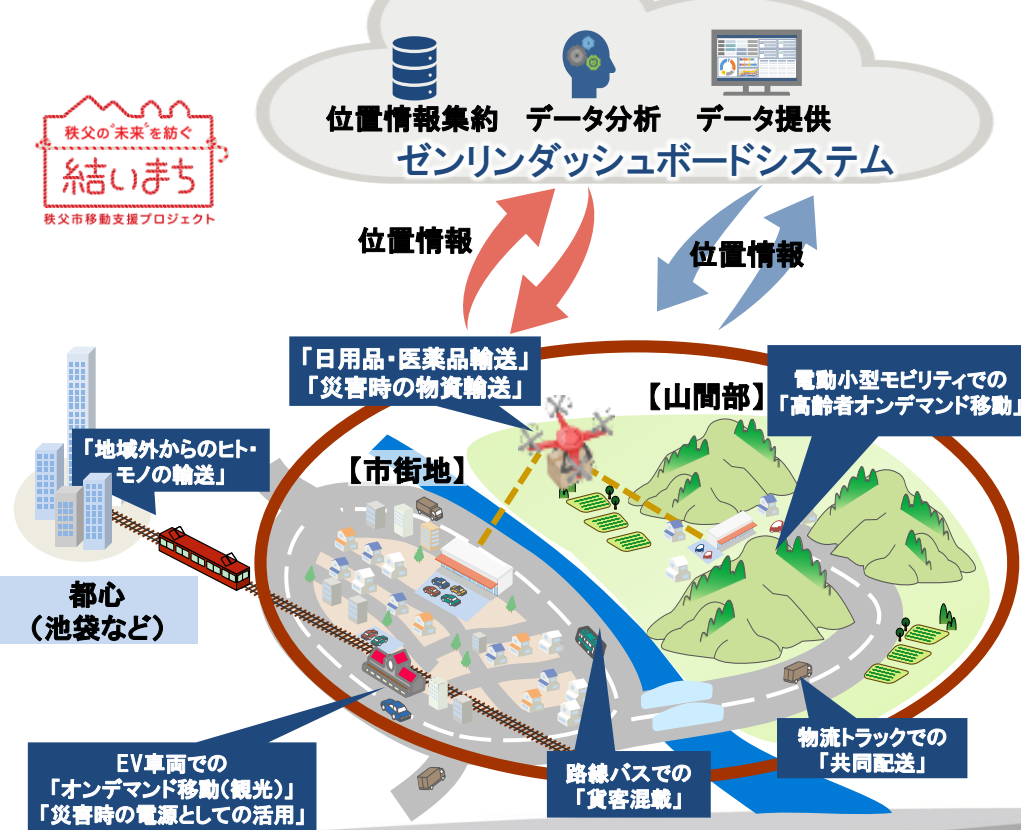
4 道の駅でドローンに
商品を搬入。

3 道の駅まで商品を配送。

2 スーパーで注文を確認し、
商品をピックアップ。

■埼玉県秩父市
地域全体の移動の最適化に関するスマートシティ5カ年実証(3年目)

都市全体のモビリティの位置情報を統合し・可視化



ゼンリンとMobility Technologies(MoT)は、3万台のドライブレコーダー映像を活用した 地図メンテナンスの試験運用を全国的高速道路にて開始

<2022年5月10日>

MoTドライブレコーダーのカメラ映像から、AI技術により地図との差分情報を自動抽出し、地図メンテナンスへ活用する取り組みにおいて、全国高速道路での試験運用を開始。本取り組みにより、現地変化箇所を早期に効率的に検出が可能となり、鮮度向上を実現します。

■ドライブレコーダー映像の活用

3万台以上の次世代ドライブレコーダー『DRIVE CHART』
搭載車両が全国の高速道路の約9割を1ヶ月で走行



▲高速道路の規制標識を画像認識し、
地図上該当箇所と比較し差分を検出

▲全国の高速道路の総距離約3万kmのうち
約9割を1ヶ月で走行する網羅性を実現

■自動運転社会の情報基盤として貢献

今後は対象道路や地物の種類を増やし、
高鮮度な空間情報提供を実現



走行領域・レーン



道路の幅



矢印ペイント



日本電信電話株式会社との資本業務提携契約を締結 IoT/AI時代に向けた「高度地理空間情報データベース」の構築に取り組む

<2020年3月26日>

<2021年4月19日>

ZENRIN

NTT InfraNet

両社が独自に整備・管理する意味情報の強化を図るとともに
相互利用と各種サービス・製品の高度化を目指す



WEB **NTT InfraNet**
<https://www.zenrin.co.jp/information/public/210419-1.html>

<2021年6月23日>

ZENRIN

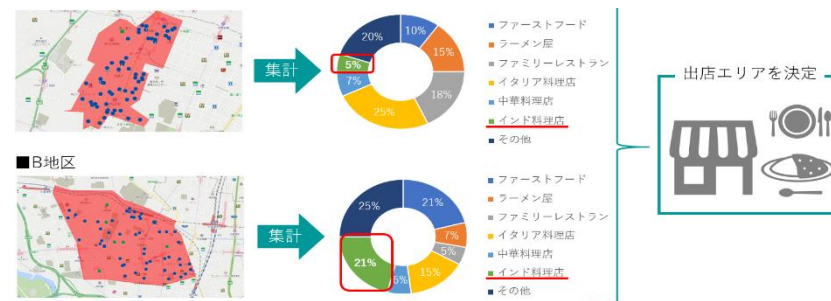
NTTタウンページ

ゼンリンが保有する「時空間データベース」とNTTタウンページが保有する高鮮度な
「タウンページ情報」を融合し、新たなサービスが製品の創出と高度化を目指す

▶2021年11月17日 共同開発の第一弾をリリース

ゼンリンとNTTタウンページが共同開発したGISコンテンツの新商品
「企業サーチデータ」を販売開始

～地図情報と企業情報の組み合わせで、マーケティング業務等を支援～



WEB **NTT タウンページ**
<https://www.zenrin.co.jp/information/public/210623.html>

3. Appendix

1) 2023年3月期 通期業績予想

- ① 通期業績予想概要
- ② 事業別売上高
- ③ 設備投資額・減価償却費・研究開発費
- ④ 四半期売上高構成比推移
- ⑤ 配当金

2) ZGP25 2nd Stage

- ① 事業基盤となるZIP(ZENRIN Information Platform)
- ② 基本方針(事業、生産、組織・人事、財務)

3-1) ①2023年3月期 通期業績予想

2022年3月期 決算説明資料

2023年3月期 業績予想

前期比【増収増益】

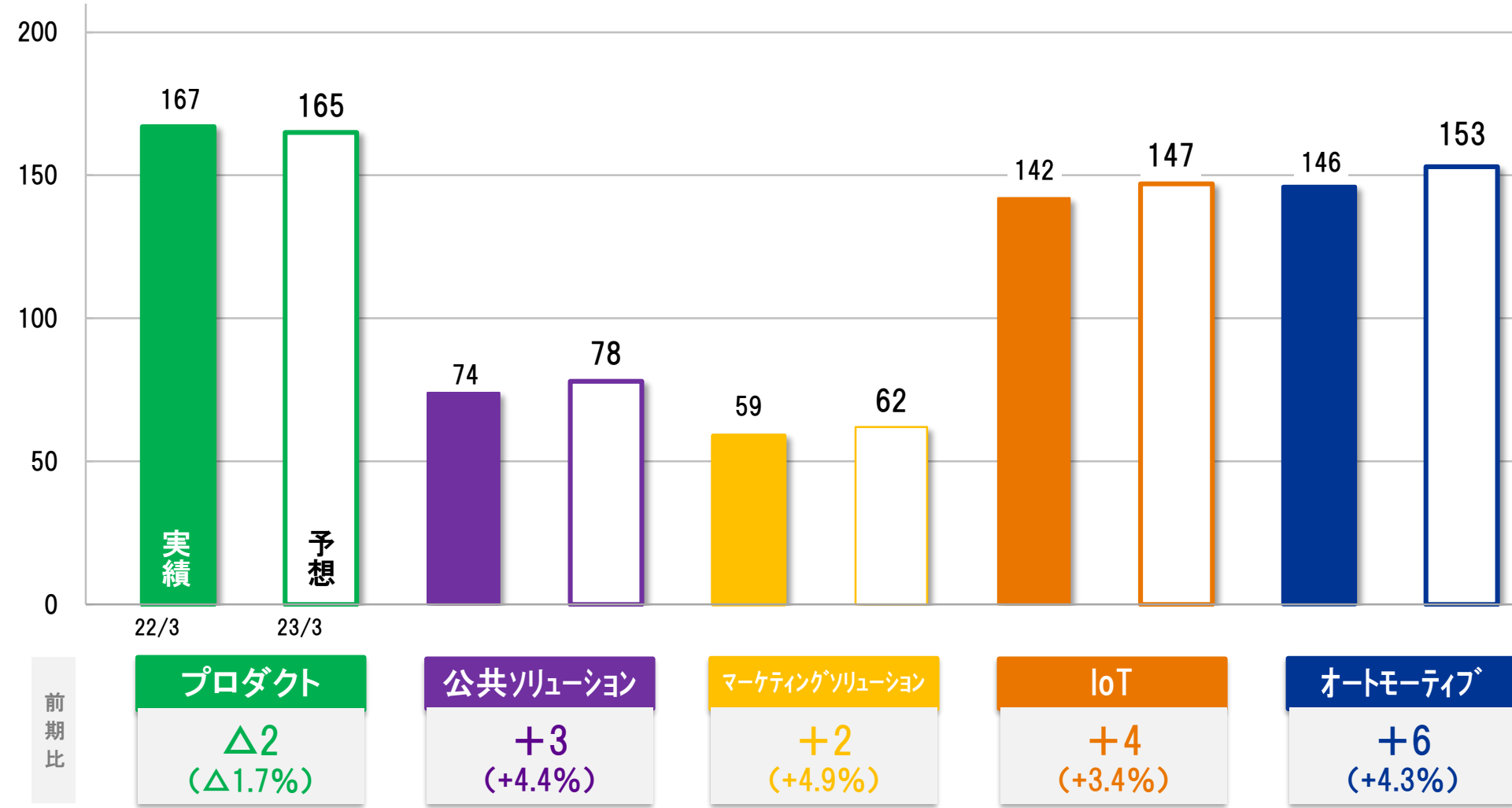
- 売上高は、コロナ禍からの回復基調継続を背景に、2期連続増収の見通し
- 損益面では、増収により、営業利益は増加の見通し
また第1四半期に固定資産の売却による特別利益を計上する見込みであるが、
前期に計上した投資有価証券売却の反動減により、親会社株主に帰属する当期純利益は減少の見通し

(金額単位:百万円)

	2022年3月期 実績	2023年3月期 業績予想	2022年3月期 同期比	増減率(%)
売上高	59,053	60,500	1,446	2.4
営業費用	56,382	57,500	1,117	2.0
営業利益	2,670	3,000	329	12.3
営業利益率	4.5%	5.0%	0.5pt	
経常利益	3,044	3,200	155	5.1
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,658	2,600	△1,058	△28.9

(金額単位：億円)

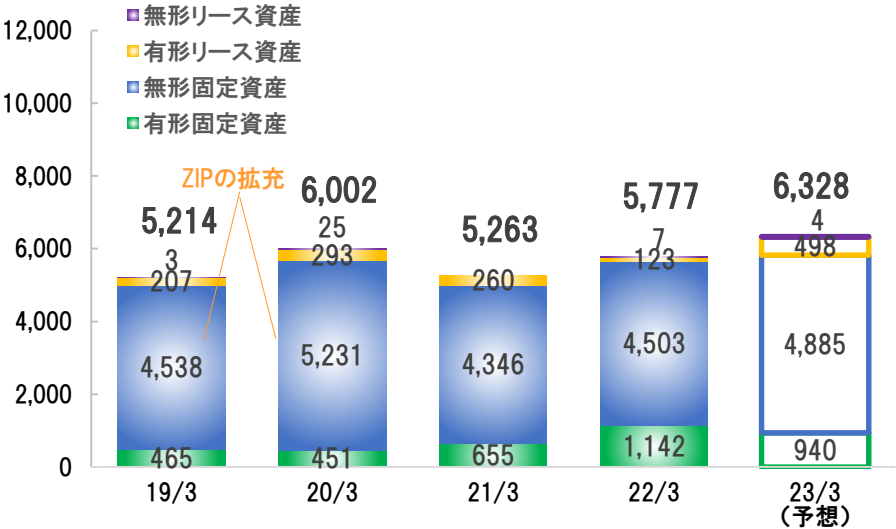
3-1) ②事業別売上高



※ 2022年3月期のマップデザイン事業の売上は、プロダクト事業に含めております。

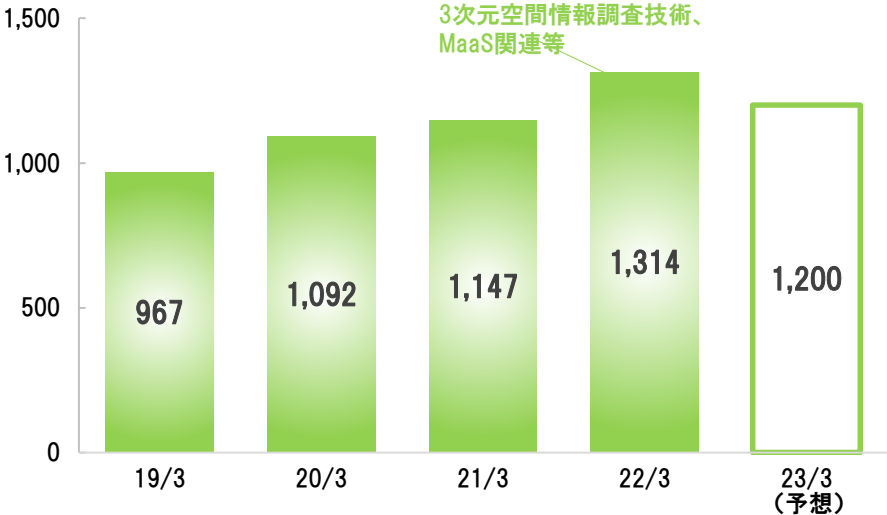
3-1) ③設備投資額・減価償却費・研究開発費

設備投資額

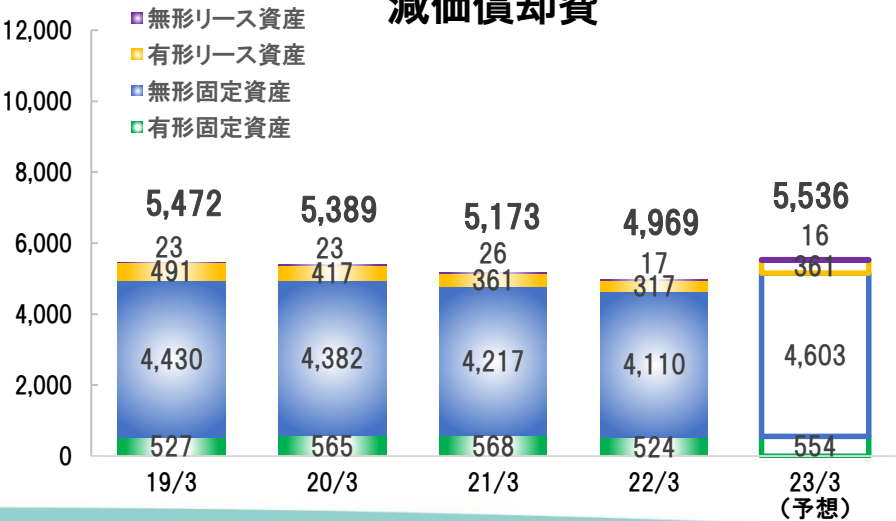


研究開発費

(金額単位:百万円)

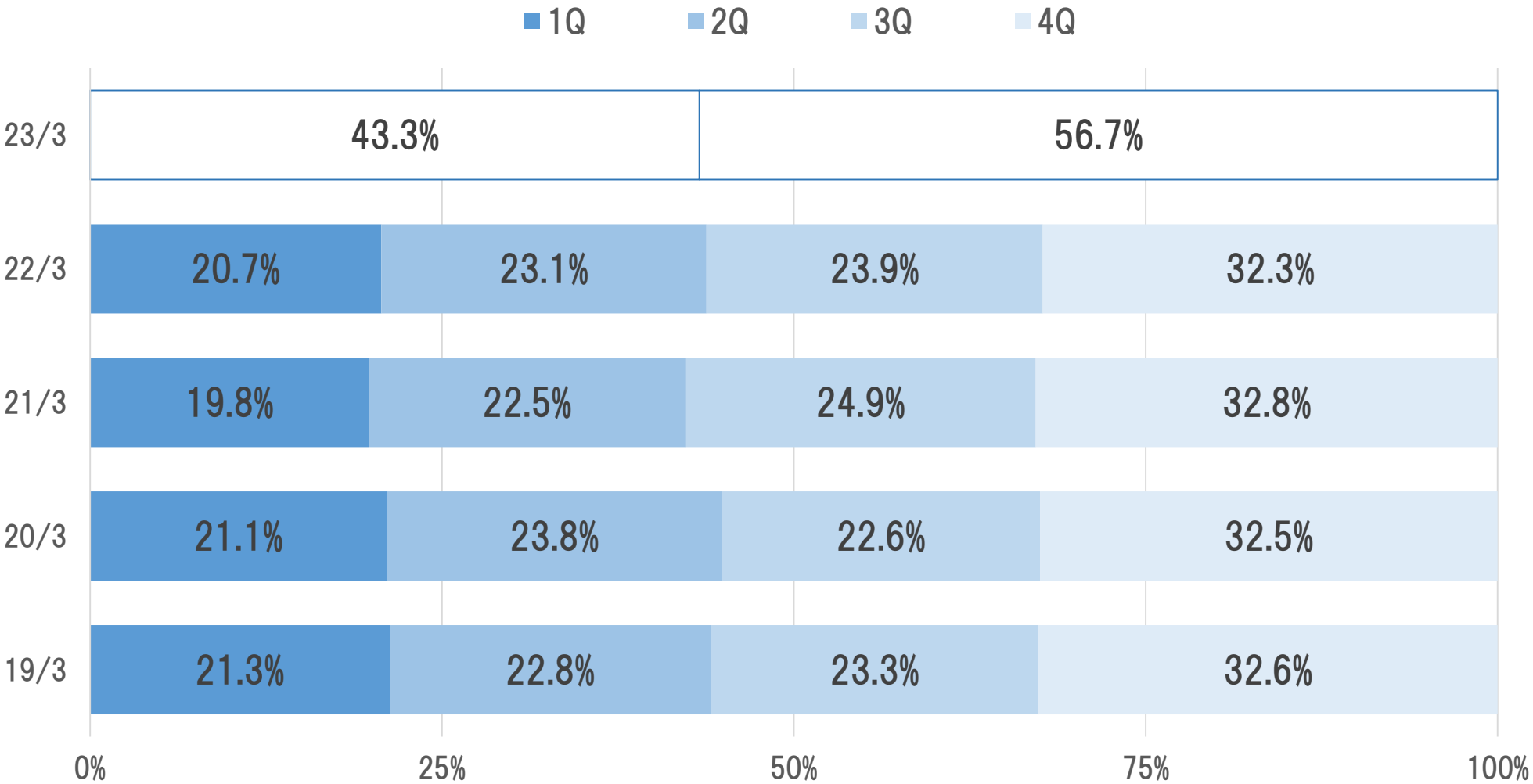


減価償却費



3-1) ④四半期売上高構成比推移

2022年3月期 決算説明資料



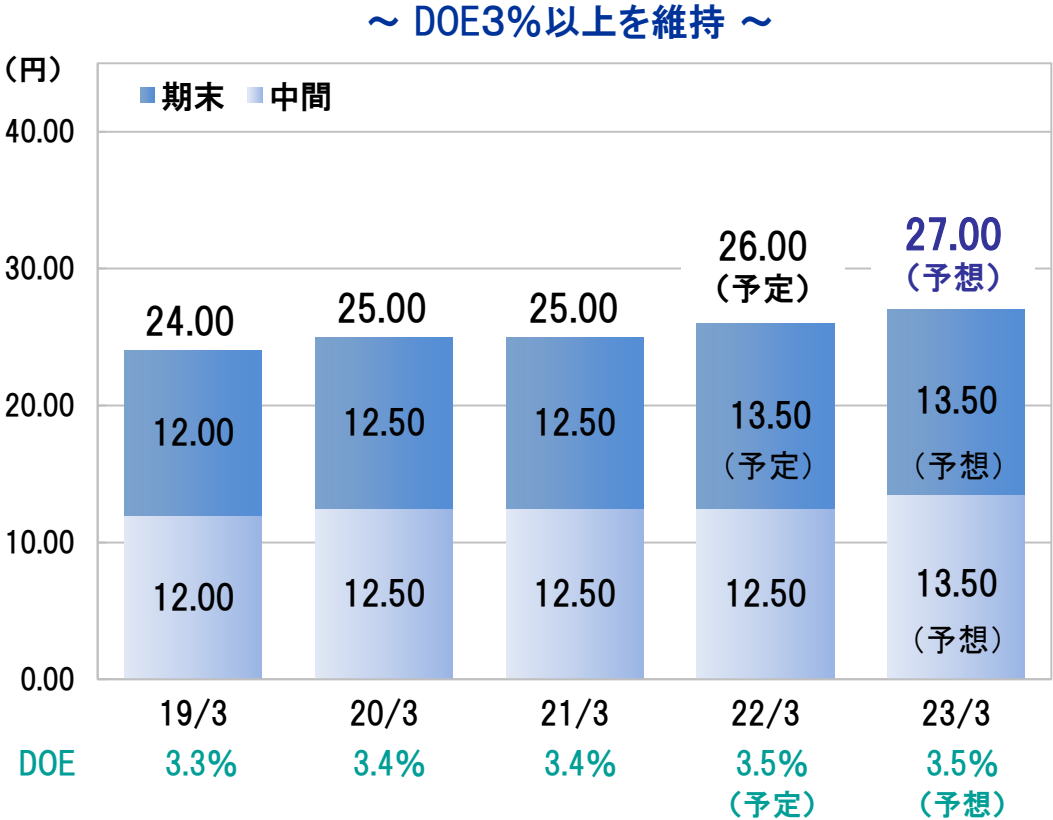
3-1) ⑤配当金

2022年3月期 決算説明資料

基本方針

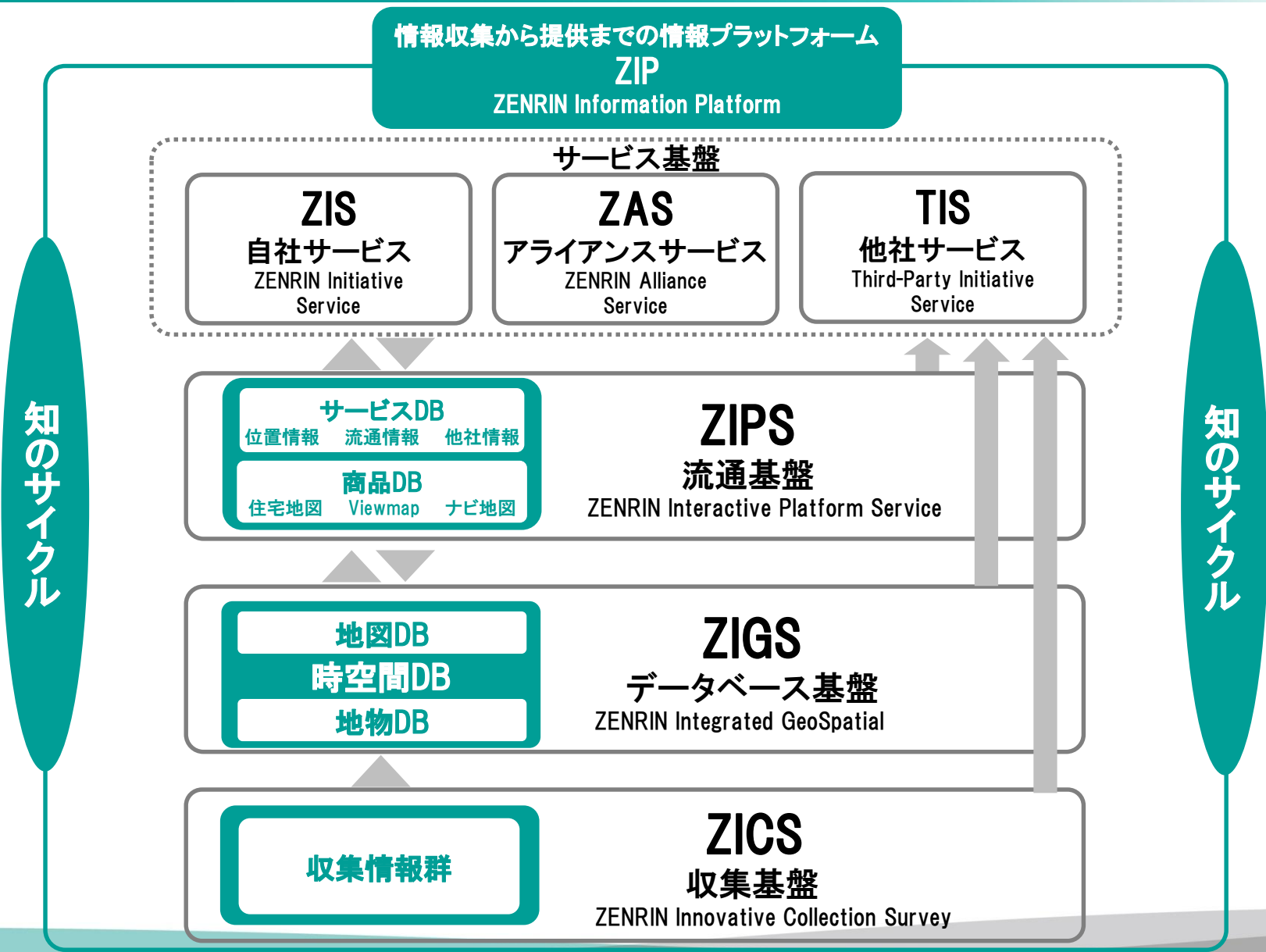
適正な内部留保を考慮しつつ、中長期経営計画における利益成長に基づいた利益還元を実施
連結株主資本配当率(DOE)3%以上を目標

2023年3月期配当金(予想)	
中間	13円50銭
期末	13円50銭
年間	27円00銭



3-2) ①事業基盤となるZIP(ZENRIN Information Platform)

2022年3月期 決算説明資料



**様々な収集情報群を「データベース基盤」で管理最適化し
「流通基盤」で利用最適化することでサービスの価値連鎖を起こし
位置情報利用における顧客価値を増大させる**

I	フロー型ビジネス (所有)	利用価値の高い「コト的要素」を入れた「モノ的サービス」を顧客に提供し、その都度に収益を得るプロダクトビジネス
II	ストック型ビジネス (常用利用)	顧客が常に安心して利用できる仕組みを構築し、定期・定額でサービスを提供し、継続的収益を得るライセンスビジネス
III	サブスクリプション型 ビジネス (適宜利用)	顧客の適宜要望(ちょうどいい)に対応するサービスを提供し、小口の都度収益を積み重ねるオンデマンドビジネス
IV	ハイブリッド型ビジネス (組み合わせ利用)	上記 I・II・III のビジネスモデルを組み合わせることで、より価値の高いサービスを提供し、継続的収益を得るビジネス

3-2) ②基本方針(生産)

様々な情報群を利用最適化する「流通基盤」に収集情報群を機動的に繋げるための「データベース基盤」を管理最適化し、ネットワーク社会に位置情報イノベーションを起こす

I	モビリティ ネットワーク	あらゆる位置情報をネットワーク化した最強のネットワーク データベースの構築
II	QCDDS イノベーション	「コト」を価値化するために必要な用途開発を可能にする 「多様性と拡張性」の変革
III	インテリジェント テクノロジー	個人ひとりひとりが持つ知的技術力を実用化した最強の テクノロジーデータベースの構築

3-2) ②基本方針(組織・人事)

2022年3月期 決算説明資料

**多様な人財が、活気溢れる組織でイキイキと活躍し、
ステークホルダーに信頼される企業グループとなる**

I	プロセス リレーション	最適な「経営管理プロセスの運用」を徹底することで 管理生産性を向上させ、健全な財務体質を堅持
II	ナレッジ リレーション	外部環境変化に常に対応できる「知恵」を有する人財を 継続的に創出するための人財開発
III	ソーシャル リレーション	「安心して働ける職場環境」を創出しノリノリ組織を実現

3-2) ②基本方針(財務)

2022年3月期 決算説明資料

利益成長及び資産効率向上による健全な財務基盤を維持し、 中長期的な利益成長に基づいた株主還元の実施

自己資本当期純利益率(ROE)を重要な経営指標の一つと捉え、
営業利益率の向上とともに資産の効率的活用を推進し、ROEの向上を目指します。

I	ROE 7%以上	営業利益率×総資産回転率×財務レバレッジ
II	バランス投資	フリーキャッシュフローに留意した設備投資の実施 成長分野への経営資源を最適配分(M&A含む)
III	株主還元	利益成長に基づいた安定的かつ継続的な配当実施 機動的な自己株式取得

ZENRIN

Maps to the Future

株式会社ゼンリン <https://www.zenrin.co.jp>
IR問い合わせMail zenrin-ir@zenrin.co.jp